これからの長野県への提案

長野大学 環境ツーリズム学部三田 育雄ゼミ久保木 匡介ゼミ古田 睦美ゼミ

0

三田育雄ゼミ

テーマ:観光まちづくり

現状•課題

- 地元に就職口がない
- 県内での移動が不便
 - 「- 移動手段が少ない、路線の廃線(電車・バス)
 - 道路の整備不良
- 商店街のシャッター街化

解決策として...

観光産業のさらなる展開

- →就職口の確保
- →交通サービス·商店街の利用者増加

長野らしさを活かす

食のブランド化

- ·伝統食,B級グルメの商品化
- ・個性的店舗(地場の名店、チ ャレンジショップ)の紹介、支援







上田市 「hatake cafe山笑」

「アトリエ・ト・フロマーシュ」

特産物の提供

- ・農産物直売所への新たな テコ入れ(高齢化対策、出 荷組織の整備)
- ・地場産品の集荷の強化

山岳観光強化

- <mark>·初心者向けの山登リ</mark>ツアー の提供
- ·若者向けイベントの開催
- ・長野の山案内人、認定制度

積極的なPR

農産物·食文化のPR

- ・長野ならではの農産物・特産物を県外へと発信
- ・独特な食文化のアピール

新たな観光の掘り起こし

- ・グリーン・ツーリズムやエコ・ツーリズムの普及
- ・交流型観光や二地域居住の促進

温泉の魅力アップ・アピール

地域を挙げての取組:別所温泉の事例~

別所温泉における県魅力創生事業での取り組みの例

取組の目標:新たな観光の魅力の創出

住民や協議会の声を土台に、温泉地の核となる新たな魅力を創出

その地域ならではの魅力の創出

地域に活気をもたらす

観光客の誘致

取組の体制

- ・地元の体制:自治会、財産区など4団体の連携
- ・周辺との連携:県地方事務所、上田市、長野大学など
- ・住民の取組:委員会への参加、アンケート等での意見聴取



理想とする長野県像

観光産業の新たな発展

- ・地方色ゆたかな食と食材が楽しめる長野
- ・首都圏の奥座敷として賑わう長野
- ・観光客が買い回る商店街
- ・まちあるきが楽しい温泉地

若者のパワー溢れる長野

- ・6次産業化の進展で広がる職場
- ・新たな創造的職場の発生